

施策分析シート（平成28年度）

No1

施策名	小児医療の充実	施策No	03-05	部課名	健康部生活衛生課			
				課長名	東山	内線 437		
関連部課名	健康部健康推進課、保健予防課							
行政評価	分野	Ⅱ	子育て教育都市					
事業体系	政策	03	子育てしやすいまちの形成					
目的	小児初期救急医療体制を確保し、病状が急変しやすい子どもの医療の充実を図る。							
指	幸福実感指標名 (5段階評価)	指標の推移			指標に関する質問文			
		25年度	26年度	27年度				
	①	子育て・教育環境の満足度	3.29	3.46	3.46	お住まいの地域における子育て・教育に関する事業・サービス・施設などが充実していると思いますか？		
	②							
	③							
標	施策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明		
		25年度	26年度	27年度	28年度 見込み		目標値 (28年度)	
	①	平日準夜間小児初期救急医療受診者数(人)	3.5	3.7	3.4	3.7	—	1日あたりの平均受診者数
	②							
	③							
	④							
現状と課題 (指標分析)	○小児救急医療体制の整備により、確実な医療体制を確保し安心して子育てができる環境づくりを進める必要がある。 ○安定的な体制を確保する必要がある。							
	《今までの成果及び指標分析を踏まえて》							
今後の方向性	○初期救急医療としての機能を分担し、二次・三次救急病院がその本来の機能を円滑に遂行できるよう、保護者や区民に対する広報を実施していく。 ○区民に分かりやすい小児医療の拠点的な医療機関を設置する。							

施策の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
推進	推進	次世代を担う子どもの疾病に対応するために、医療体制の整備は重要な施策である。若い保護者の要望を聞きながら、利用しやすい医療体制の充実を図る必要がある。

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		26年度	27年度	28年度	29年度	
準夜間小児初期救急医療 事業費	08-01-03	24,736	24,558	推進	推進	症状が急変しやすい子どもの健康を守る 事業として欠かせない事業であり、引き 続き実施する必要がある。
妊娠高血圧症候群等医療 給付事務	08-02-24	1,107	776	継続	継続	妊産婦の死亡や未熟児等の発生を予防す るため必要な事業であり引き続き実施す る。
未熟児養育医療給付	08-02-25	20,716	11,222	継続	継続	未熟児の死亡率を低下させるため重要な 事業である。
小児慢性疾患医療費助成	08-02-29	0	118	継続	継続	小児慢性特定疾病に罹患している児童等 の療養支援のため必要な事業である。
育成医療給付	08-03-08	1,337	1,359	継続	継続	身体に障害のある児童等の自立を支援す るため必要な事業である。
療育医療給付	08-03-09	0	0	継続	継続	結核り患児童の入院費用等を助成する事 業である。申請はないが、制度が存続す るため現状を維持する。
合 計		47,896	38,033			